

色麻町



清水寺

清水寺 (観音堂)

おとわやまきよみずでら
音羽山清水寺は、平安時代の初頭、延暦^{えんりやく} 17年（西暦798年）に創建^{そうけん}された
と伝えられています。

京都に都を置く律令国家の支配に抵抗する「蝦夷^{えみし}」を平定するために遣わされ
た「坂上田村麻呂^{さかのうえのたむらまろ}」は、蝦夷平定の最高責任者である征夷大將軍となり、陸奥国
に赴きました。その際、京都の清水寺に成功を祈願しており、首尾よく平定がな

ったことでこの地に千手^{せんじゆかんのん}観音と毘沙門天^{びしゃもんてん}を安置しました。
その後上洛した田村麻呂は、京都清水寺の僧正^{そうじょう}を下らせ、
この清水寺を開山させたとされます。

時が流れ、自然と朽ち果ててしまいましたが、戦国時代と
なり、当時宮城県北部を領地としていた「大崎義隆^{おおさきよしたか}」が寺の
書き上げにより無住寺となっていることを知り、黒沢村の
万寿山西福寺の金龍^{まんじゆざんさいふくじ}和尚^{きんりゆうおしょう}に堂宇を再建させました。

